

# きずな



我孫子市少年センター便り 第186号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津 祥子

我孫子市少年センター センター長 川本 将多

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

## 少年指導員のつぶやき



登下校のとき、いつも元気に挨拶をする子どもが、元気がなかったりすると、友達と上手くいっていかなかったり、勉強や部活が思うようにいかなかったりすることがあります。そんなときは一声かけて話を聞くと笑顔が返ってきて、ほっとして歩き出していきます。たった一言ですが、子どもたちが心のゆとりを持ち、優しい気持ちになれることがよくあります。

今、世の中の子どもたちが悲しい事件に巻き込まれたり、自ら罪を犯す事件が多数おきたりしています。そんな中でこのパトロール活動にも子どもの笑顔を守る意味があると感じます。少しでも地域の安全に貢献できるように、日々の活動を実施していきたいと思えます。

湖北中学校区  
少年指導員 伊藤健太郎

布佐中区は、日々、保護者を含め地域の方々ののおかげで安全が守られている地域です。学区をパトロールしていると、「物静かで、夜道が暗い場所が多いな」と感じています。そのため、日が暮れる時間が早くなると、交通事故や不審者等の心配があります。「夕焼け小焼け」のチャイムも早くなり、「時間いっぱい遊びたい」という子どもたちの気持ちは分かりますが、日が暮れる中、自転車等で急いで家に帰る様子を見ると危険を感じています。「薄暮時間帯」と言われる、日没時刻の前後1時間の時間帯は、1日のうちで交通事故が最も多くなり、中でも11月～1月が多いと言います。我々指導員も、保護者や地域の方とともに、安全指導をくり返し行っていくことが大切だと感じています。

布佐中学校区  
少年指導員 平井世紀



一ノ瀬かおる、福田旭  
竹書房 2023.7.27

## お母さんのおむつを替えた日

ヤングケアラーの見つけ方

ぼくが3歳のとき、父は他界。  
母は神仏やご先祖様の声がきこえる人で  
困っている人の相談に乗っていたけど、  
家はずっと貧乏だった。  
親族間の面倒事の話し合いをするのはぼく。  
“家のこと”のために林間学校も修学旅行も不参加。  
そして――  
15歳のとき母が倒れ、  
17歳から本格的な介護が始まった。  
ぼくの世界は全て家の中。  
あのとき、ぼくが過ごしていた時間は  
母のための時間だった。  
ぼくもまわりも気付かないまま――。

ヤングケアラー

について考えてみよう。

裏面に続く！！

# こんな理由で、学校を休む、友達と遊べない、好きなことができない、経験ありませんか？



障がいや病気のあ  
る家族に代わり、買い  
物・料理・掃除・洗濯  
などの家事をしてい  
る。



家族に代わり、幼い  
きょうだいの世話を  
している。



障がいや病気のあ  
るきょうだいの世話  
や見守りをしている。



自が離せない家族の  
見守りや声かけなど  
の気づかいをしてい  
る。



日本語が苦手な家族  
や障がいのある  
家族のために通訳を  
している。



家族を支えるために  
働いて、障がいや  
病気の家族を  
助けている。



問題を抱える家族に  
対応している。(アル  
コール・薬物・ギャン  
ブル)



長い期間、病気の  
家族を看病してい  
る。



障がいや病気のあ  
る家族の身の回りの  
世話をしている。



障がいや病気のあ  
る家族の入浴やトイ  
レの手伝いをしてい  
る。

厚生労働省ホームページより (<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>)

## ヤングケアラーとは？

ヤングケアラーとは、障害や病気等を抱えている家族がいて、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常のおこなっている子どものことです。令和3年度の調査では、小学生の約15人に1人、中学生の17人に1人にのぼります。そのような子どもは、頑張りすぎたり、しっかり者で明るくふるまったりする共通点があります。

勉強や部活動を頑張ったり、好きなことに熱中したりすることは、大切な子どもの権利です。もし家族の世話をしなければならず、困っていることがあれば、近くの大人に相談してみてください。

千葉県ヤングケアラー  
総合相談窓口 アトリエ



児童生徒対象  
SNSで相談ができます！

### 編集後記

ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちは本人でさえ、そのことに気づいていない場合もあり、周りが気づいてあげるのはなかなか難しいのが現状です。家族の手伝いや助けをするのは、ふつうと思われがちですが頑張り過ぎは要注意です。身近な人に相談できる環境づくりの大切さを感じました。(我孫子中区・前田)